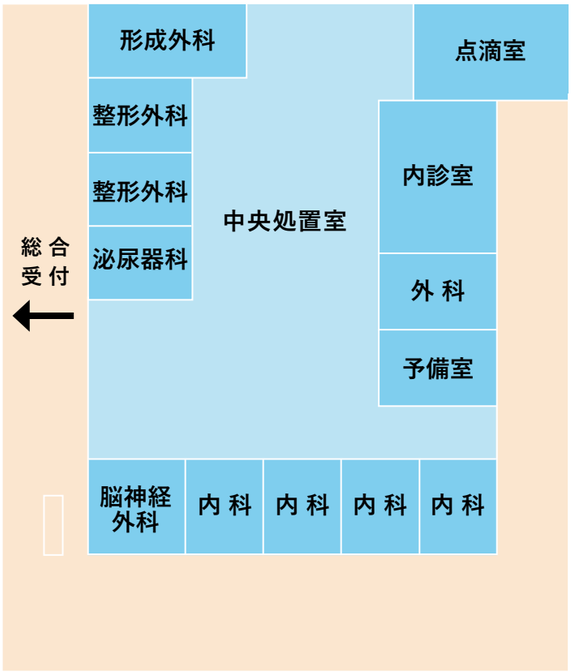
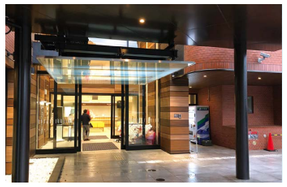
外来診察室紹介



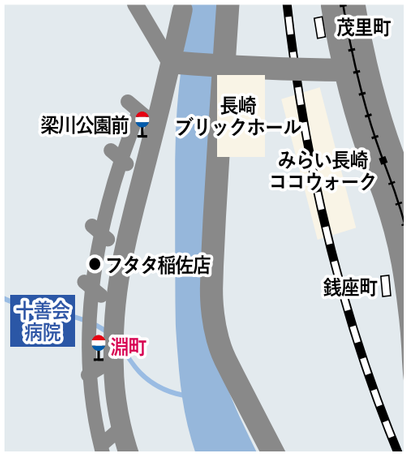

正面玄関

総合受付

外来待合

[外来診療受付時間]

- 平 日　8：30 ～ 11：30
  ※午後：予約の患者様のみ
- 休診日：土曜、日曜、祝日、年末年始
- 救急受付：24 時間・年中無休



[標榜診療科]

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科
外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科
肛門外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科

[病院概要]

所　在　地	〒 852-8012 長崎市淵町 20-5
階 数・高 さ	地下 1 階、地上 6 階 （敷地面積 5,168 坪、延べ床面積 2,934 坪）
病　床　数	188 床

[専用駐車場]

第一駐車場　17 台
第二駐車場　86 台（ 計 103 台 ）

[併設施設]

- 十善会在宅総合支援センター（訪問看護）
- 十善会健康管理センター

社会福祉法人　十善会
十善会病院

TEL.095-864-0085　FAX.095-801-2715
〒 852-8012 長崎県長崎市淵町 20-5
https://juzenkai-hospital.or.jp

救急から在宅まで

病院のご案内

社会福祉法人　十善会
十善会病院

[病院理念]

社会福祉法人病院として、地域に密着した医療を行ってきた歴史を守り、「救急から在宅まで」を目標に、患者さんが満足し、職員も満足する病院づくりを実現することにより、地域住民の保健・医療・福祉の向上に貢献する。

[無料低額診療事業実施医療機関]

「無料低額診療事業」とは、経済的な理由によって必要な医療サービスを受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で医療を行うもので、社会福祉法に位置づけられている事業です。当院では社会福祉法人として、経済的なご事情のある患者様に対してご相談に応じております。

地域に「安心」を提供し、皆様から「信頼」される病院を目指します。

入院棟

- 6F 病 室 601～618
- 5F 病 室 501～518
- 4F 病 室 401～418
- 3F 病 室 301～318

外来棟

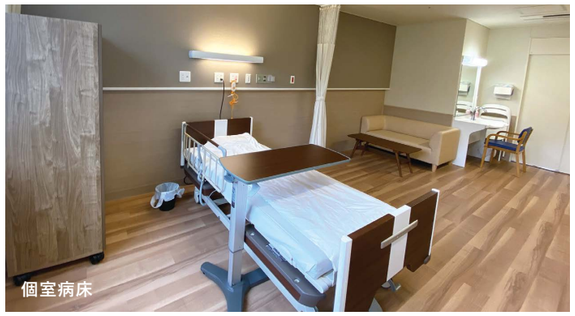
- 2F 放射線部　リハビリ室　医局・管理部　健康管理センター ― 手術部　CT・MRI
- 1F 外 来　薬剤部　生理検査室　救急
- B1 栄養部　管理部

スタッフステーション

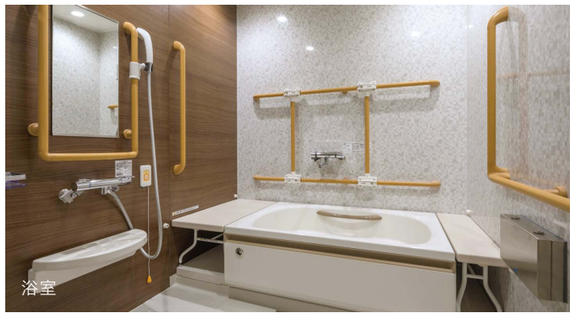
病院のご紹介

[病院沿革]

明 治 8 年 6 月	高木文章が長崎村十善寺郷（現長崎市中新町）に『十善寺病院』を開業
昭 和 13 年 7 月	広馬場町 1 番地（現籠町 7-18）に病院を移転
昭 和 26 年 5 月	『医療法人十善会 高木病院』開設（22 床）
昭 和 33 年 5 月	『社会福祉法人十善会 十善会病院』認可（43 床）
昭 和 37 年 4 月	長崎県で最初に「救急部・救急室」を設置
昭 和 39 年 6 月	「救急告示病院」指定
昭 和 44 年 3 月	本館増改築により増床（267 床）
昭和 53 年 10 月	「病院群輪番制病院（二次救急医療）」指定
平 成 9 年 10 月	病院増改修工事竣工（205 床）
令 和 元 年 9 月	日本脳卒中学会「一次脳卒中センター」認定
令 和 3 年 6 月	淵町に新築移転（188 床）（一般病床 94 床　地域包括ケア病床 94 床）


個室病床

4 床個室


浴室

病棟ディルーム

救急医療

いつでも身近にある救急病院

昭和 39 年に救急告示病院の指定をうけて、病院群輪番制病院として「救急医療」に積極的に取り組んでおります。救急医療は地域の安心を支える重要な柱の一つです。
当院では年間 2000 件前後の救急車を受け入れており、地域の方に頼りにされる病院として 24 時間 365 日体制で対応しております。
緊急の検査や手術などにも対応できるように医療スタッフの体制も整えており「質の高い･安全な医療を提供する」ため、日夜努力を重ねております。

地域連携

地域密着型の病院を目指して

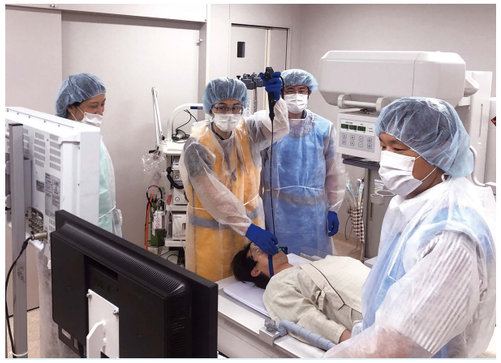
長崎地域の皆様が病気やけがなどに見舞われた後も、再び安心して住み慣れた街や土地での生活が続けられるように、地域の医療機関や介護施設と連携を図り、地域密着型の病院を目指します。

■ 地域連携室

地域連携室では外来受診や入院・退院に関する相談をお受けしております。
地域のかかりつけ医からの紹介などの前方連携、在宅復帰・転院支援などの後方連携を社会福祉士や看護師が対応しております。入院患者様に対しては各病棟に相談員を配置し、社会資源の情報提供や関係機関との連絡調整を行い退院・転院支援を行っております。

■ 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟とは、急性期病院、病棟からの患者様の受け入れ（ポストアキュート）、在宅・施設からの緊急時の受け入れ（サブアキュート）の両方に対応した、病院と地域との橋渡しを担う病棟です。退院後に安心して生活が送れるように、患者様やご家族と相談しながら地域の先生方やケアマネージャー、介護施設との連携を図り、多職種協働で退院支援を行っております。
またレスパイト入院にも対応しております。「レスパイト」とは「一時休止」「休息」という意味で、在宅介護をする介護者の事情で一時的に在宅介護が難しくなった場合に、短期間の入院を利用することによって介護者の負担軽減を図る制度です。



呼吸器内科

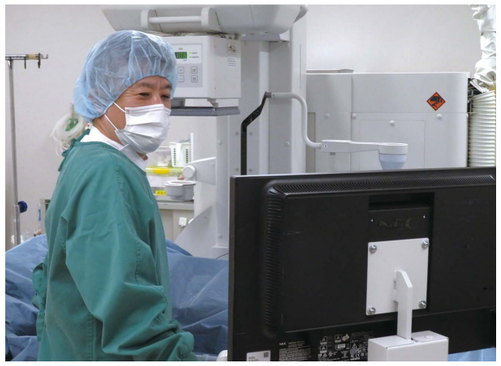
専門的な検査で診断の向上に努め、適切な治療を提供します

呼吸器内科の専門医師が、慢性疾患から救急対応が必要な呼吸器疾患まで、幅広く対応しています。特殊検査としては気管支内視鏡検査、CT ガイド下肺生検、胸腔鏡検査などを行っており、気管支内視鏡検査においては、仮想気管支鏡や最新の超音波気管支内視鏡を併用して、診断の向上に努めています。
2008 年 12 月 日本呼吸器学会関連施設に認定。

消化器内科

上部消化管および下部消化管、肝臓、胆道、膵臓など全消化器疾患の診療を行っています

最新鋭の内視鏡機器を駆使し患者さんに苦痛の少ない、質の高い上部内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を行っています。
疾患としては消化器領域の各種悪性腫瘍、消化性潰瘍、ピロリ菌の除菌治療、機能性消化管疾患の治療を行っています。また急性胃十二指腸潰瘍出血、食道静脈瘤破裂の止血や総胆管結石などによる閉塞性胆管炎への緊急内視鏡検査も行っています。



循環器内科

より良い医療を提供できるように努めて参ります

心臓や大動脈および末梢血管の病気を専門に診療します。
主に心不全、狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、不整脈などの心疾患や大動脈、肺動脈、末梢疾患などの血管に関わる疾患が治療の対象になります。また、高血圧・糖尿病・高脂血症・メタボリック症候群などの生活習慣病の診断治療も行い、病気の早期発見や予防にも力を入れております。心臓（冠動脈）CT 検査も行います。従来の心臓カテーテル検査に比べて患者様への負担が少なく、外来でも検査を行うことができます。
胸痛の原因として狭心症があるかどうか詳しく調べたい場合、検査を行いますのでご相談ください。

脳神経外科

迅速かつ適切な脳卒中治療を行っております

当院は以前から脳神経外科を中心に多くの脳卒中患者様の治療を行っており、日本脳卒中学会から令和元年９月１日に一次脳卒中センターとして認定されました。多職種によるチーム医療、急性期リハビリを早期から実践し、全国に先駆けて脳卒中患者様の嚥下訓練に力を入れてきました。現在脳神経外科専門医、脳卒中専門医、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を中心に、理学･作業･言語療法士、薬剤師、検査技師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーらと共に長崎地域における脳神経外科救急医療に貢献すべく日夜頑張っております。また、他の回復期リハビリ病院との緊密な連携にて、回復期リハビリへのスムーズな移行も図っています。

泌尿器科

検査は極力低侵襲で行います

下記疾患以外に尿路結石、尿路感染症、排尿障害など、
泌尿器疾患の全般を診療対象にしています。

■ 腎疾患

腎癌の治療の中心は外科的治療になります。可能な限り腎部分切除を行い、腎機能温存を図るように努力しています。

■ 膀胱疾患

当院では膀胱癌に対する経尿道的手術（TUR Bt）が最も多い手術となっています。膀胱温存を図るために Second look TUR（残存腫瘍確認のため行うもの）も積極的に行っています。やむを得ず膀胱摘出を行う場合は stoma free の回腸利用新膀胱造設を原則としています。

■ 前立腺疾患

前立腺癌の診断には MRI 検査後に経会陰針生検を行っています。治療方針は極力患者様の希望に沿うように手術、放射線治療、ホルモン治療などより選択していただいています。前立腺肥大症に対しては薬物治療が中心ですが、外科的治療が必要な場合は経尿道的前立腺切除術を行います。残存腺腫を多く残さないように努力しています。

外　科

急性腹症からがん治療まで

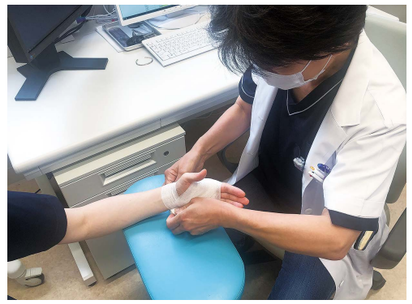
通常の待機的手術はもちろんのこと、昼夜を問わない緊急手術で長崎市民の要望に応えてきました。胃・大腸・乳腺等の悪性疾患、腹壁ヘルニアや胆嚢炎、虫垂炎、肛門疾患等の炎症性疾患に対して診断から手術、術後の経過観察や治療まで幅広く取り扱っています。診療にあたっては内科等と手術の適応や時期を常にディスカッションしながら進めており、腹腔鏡手術を主体に患者さん一人一人に最も適切な治療を提示します。
また長崎大学病院等とのネットワークを活かし、シームレスな治療を受けられるように適宜紹介、紹介受け入れを行っており、診療協力を得られる体制を整えています。

整形外科

手外科専門の外来を行っています

当院の常勤医と大学病院とが密に連携し、幅広い分野と専門性に特化した外来対応を行います。特に手外科専門の外来を定期で行っており、他の医療機関から多くのご紹介をいただいています。また、二次救急輪番病院としての救急対応も行っています。

形成外科



きれいな傷を目指しています

顔や手足の身体表面の傷や変形を治すことを目的としている科です。顔面骨折や交通事故、転倒などの外傷、熱傷、あざや皮膚、皮下の腫瘍、褥瘡や潰瘍、瘢痕やケロイド、陥入爪など多岐にわたる疾患が治療対象となります。体表面について広くかかわるため、他領域の専門医と共同して治療にあたることもしばしばです。

放射線科

被ばくの軽減と画質の向上に努めています

放射線科は、「救急から在宅まで」の病院理念に基づき、地域の急性期医療に応えるため 24 時間・365 日いつでも検査に対応できる体制を整えています。現在の医療においては、的確な診断を行うために画像診断は必要不可欠です。医師・看護師・放射線技師と連携しながら、患者さんの診療に役立つ画像の提供に日々努めています。検査を受ける際わからない事があればお気軽にお尋ねください。

リハビリテーション科

「救急から在宅まで」生活の質の向上を目指した リハビリテーションを追求します

一般病棟での急性期リハビリテーションでは、“救急救命後の早期リハビリ開始”、“早期離床と日常生活の確立に向けた練習や支援”などに取り組んでいます。入院時から多職種と協業しチーム医療に努めています。地域包括ケア病棟でのリハビリテーションでは、“その人らしさを尊重した生活能力の拡大”、“自立支援に向けた住環境や福祉用具の調整および介護サービスの検討”、“家族介護の支援”などに取り組んでいます。退院前には必要に応じて在宅医療や介護職との地域連携に努めています。

外来リハビリテーションでは、手の外科術後を中心として当院退院後や外来通院の患者さん（介護保険サービスの利用がない方）を対象に、在宅生活に必要な機能や動作能力の向上へ向けた介入や相談支援を行っています。
当院でリハビリを希望される方は各診療科の受診の際にご相談ください。